

## 「やってみました海外生活」雑感PDF

初めての海外渡航はメキシコでした。スペイン語を練習して2年6ヶ月経過していました。やっと業務で10ヶ月の出張（実際は一年でした）を命ぜられ、JALの直行便に単身乗り込みました。バンクーバーで1時間の休憩の後、5時間でメキシコシティに到着しました。到着して一週間時差ボケで眠れませんでした。午後4時頃無性に眠くなりました。何とか眠れるようになりました。帰国した時は時差ボケは全然問題ありませんでした。帰国した時、痩せていたのでしょうか。食事は何を食べていたの？と質問されました。現地は標高1.5キロあり、睡眠が浅いための影響だったのかも知れません。

現地では現地語を使うように心掛けました。先ず言いたい言葉を現地語に直しておいてその言葉を話してみる。それから会話がスタートする。会話で相手から言い回しを教えてもらう。最初に覚えた言葉は電話の対応語でした。現場から電話がかかって来ても、電話では会話が難しいので、現場で話し合うようにしていました。会議で現地人同士の会話の聞き取りは非常に難しい。その場合は信頼できる人を隣に置いて、説明してもらっていました。メキシコは単身赴任でしたので、日本から来る手紙が心を癒してくれました。豪州では家族帯同でしたので、家族との付き合い時間がどうしても必要です。家族と共に生活しながら仕事をするリズムを作ることが肝要です。皆協力する心掛けが必要です。お蔭さまで、海外で健康を害したことはなかったです。全ての海外生活で皆勤でした。海外の生活に慣れるのは早く、問題はなかったと思いますが帰国した時、むしろ日本の生活に慣れるのに時間が掛かったように思います。予想外でした。豪州からの帰国以降、海外業務を命ぜられました。体験を活かすことができ感謝しております